

## CARTのリーク判定不合格時の対応について

TPフィルタ接続部・腹水ろ過器と回路の接続部・ろ過ポンプのセット不良などがあると、腹水ろ過器にリークがなくとも不合格になります。また、回路接続時に腹水ろ過器内の充填液が大量に漏れた場合も不合格になりますので、操作手順に従って一箇所ずつ確実に接続してください。リーク判定不合格時は、以下のすべての箇所を確認後、リーク判定を実施し再び不合格になった場合は、腹水ろ過器を交換してください。

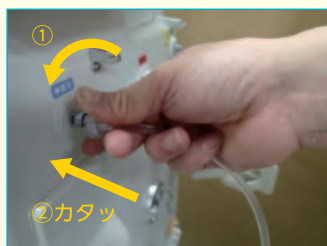
### リーク判定不合格時の確認ポイント

#### ①TPフィルタの取付け確認(再装着の実施)

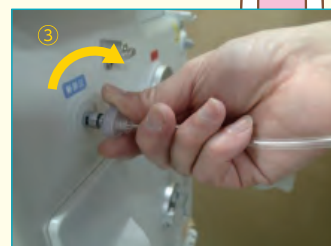
装置に取り付けたTPフィルタのネジ山が噛み込んでいると、エアーが漏れて不合格になります。TPフィルタを一度装置から取り外し、正しい手順で取付け直してください。



①差し込む  
TPフィルタを受圧口と  
平行の状態できく差し込みます。



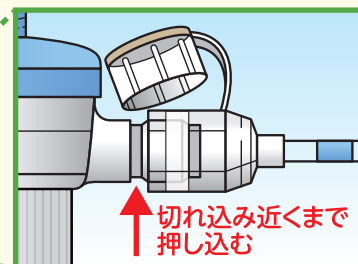
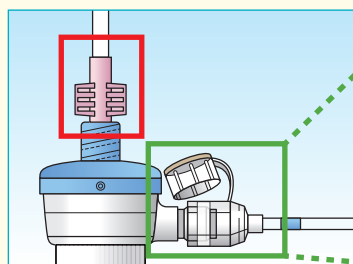
②左に回す  
TPフィルタを①反時計方向に回し続けると、フィルタが②カタッと奥に落ち込みます。(半周以内)



③右に回す  
落ち込んだ位置より  
TPフィルタを時計方向に回して締め込みます。

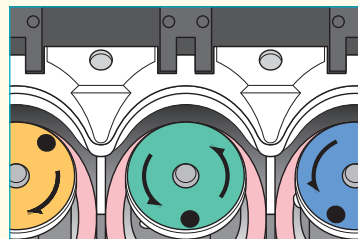
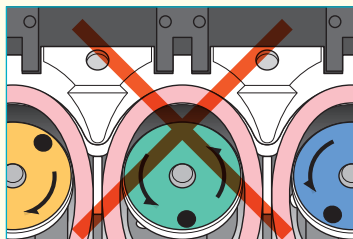
#### ②腹水ろ過器と回路の接続確認

右図の赤枠の接続部分のBポート(二箇所)を増し締めしてください。緑枠の接続部分のDポート(二箇所)の切れ込み近くまで回路を押し込んでください。

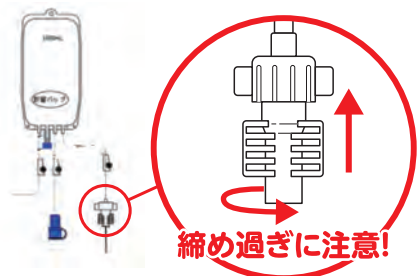


#### ③ろ過ポンプのセット不良の確認

3連ポンプ(ろ過ポンプ)カバーを開き、ポンプチューブが浮き上がらないようにセットしてカバーを閉じてください。

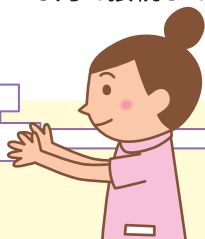


## 腹水回収用バックと回路接続部から液漏れが発生した場合の対処について



ルアーロックコネクタの先とコネクタジョイントが当たった状態から、さらに増し締めするとルアーロックコネクタの先端が強く押されて、テーパ部分が変形し、漏れが発生することがあります。

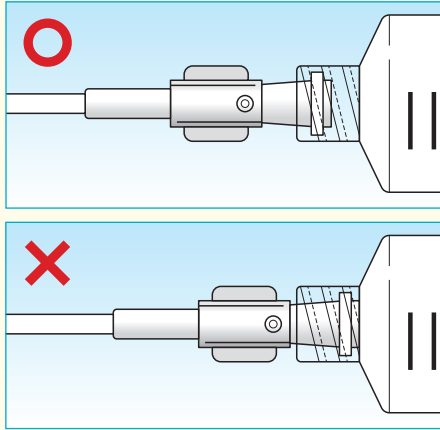
漏れが発生した場合、接続部を緩めることで変形が戻ります。その後、適度な力で接続してください。



## シリンジ先端部のねじ切れへのご注意について

メスコネクタの硬い材質(PC材質)とシリンジの柔らかい材質(PP材質)を嵌合する際に通常の位置よりも深く挿入すると、嵌合部で固着が発生し、シリンジ交換時にシリンジの先端部のねじ切れが発生することがあります。

### シリンジ取付け時の注意



メスコネクタにシリンジを差し込み回転させていくと、それ以上回すのにより力が必要となる位置があります。この筒先に抵抗を感じる位置がロック位置になります。この位置からさらに力を加えて回転させるとシリンジ先端がメスコネクタの奥まで挿入され過嵌合になります。

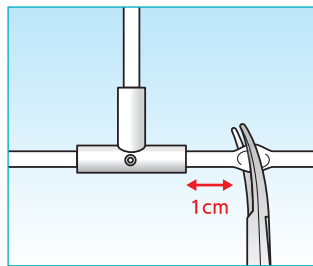
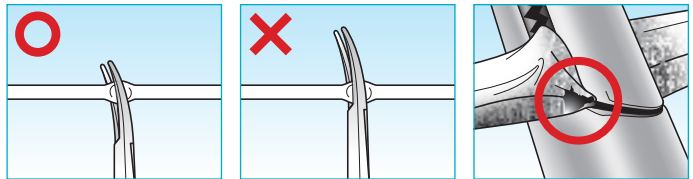
また、シリンジの取付けや取り外し時に、シリンジを傾けて回転させると、シリンジ先端部に負荷が掛かり固着やねじ切れが起こりやすくなります。



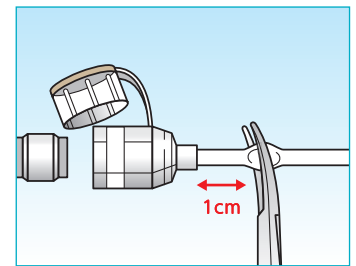
## 鉗子の使用と閉塞位置についてのお願い

血液回路の添付文書に、『チューブを鉗子等でクランプする場合、チューブを傷つけないように注意すること。』と記載されています。鉗子の先端や根元でクランプすると、チューブを損傷する可能性があります。

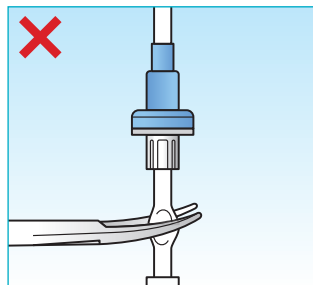
また、鉗子でチューブの接続部分(硬質部品)の際を閉塞すると、チューブの損傷や接着されている接続部の外れが発生する可能性があります。右図のような接続部付近を鉗子で閉塞する場合は、接続部分から1cm程度離れた箇所を閉塞してください。



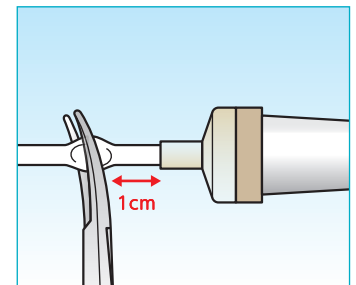
●T字管の際



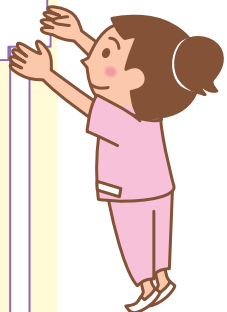
●Dポートの際



●抗凝固薬注入ラインへの鉗子操作  
(細径チューブへの鉗子操作)



●点滴筒の際



お問い合わせ先

旭化成メディカル株式会社

東京都千代田区神田神保町1-105  
神保町三井ビルディング 〒101-8101  
TEL:03-3296-3723  
www.asahikasei-medical.co.jp